

# 外国語サイト制作における 「効果的な翻訳会社の活用法」

2011/2/24

(株) アークコミュニケーションズ

## 発注者のための翻訳品質を上げる7つのルール

---

- ① 翻訳家選定のための情報を十分に伝える
- ② 翻訳開始前の準備に手間をさく
- ③ 翻訳会社に品質管理のしくみについて尋ねる
- ④ 仕上がりに影響を与える翻訳以外の要素を考える
- ⑤ 急ぎのときほど期待している品質レベルを伝える
- ⑥ 最新のIT技術の活用を考える
- ⑦ 何はともあれ翻訳会社にフィードバックを行う



詳細は <http://www.arc-c.jp/translation/present.html> を参照ください

## WEBサイト翻訳においてさらに注意すべき5か条

---

- ①原文を確定させる
- ②ネイティブ翻訳にこだわる
- ③WEBならではのテクニカルな問題に対処してもらう
- ④作業範囲を確定させ、見積もりを正確にとる
- ⑤品質・納期・コストを全体最適で考える

## ①原文を確定させる

---

### ・原文がターゲットに即したコンテンツなのかを確認

- 日本国にいる日本人向けに作ったWEBサイトのコンテンツを翻訳するだけでいいのか??
  - ・ 外国で提供していない商品・サービスではないのか?
- 日本人でないとわからない暗黙知がないか?
  - ・ 固有名詞の認知度、地理にかかわること
- 日本文化特有でグローバルにはわかりづらくないか?
  - ・ 社長メッセージで、社長の謙譲の美德を伝えるのは難しい



- A.日本語コンテンツを翻訳前に編集する
- B.翻訳後にリライトを行うことを前提とする
- C.一から日本語でコンテンツを書き起こす

## ②ネイティブ翻訳にこだわる

- マーコムツールであることを意識する
  - 日本人が翻訳して、ネイティブがチェックする翻訳会社が多いが、読みやすさに難あり
  - 正確性も大事だが、メッセージ性が重視される
- 自動翻訳の利用については慎重に
  - 品質のレベルを理解したうえでの利用(ex. ECサイト、地方自治体のサイト)
  - 簡体字から繁体字への漢字変換利用も注意が必要

	簡体字	繁体字
会社情報	公司信息	公司資訊
クリック	点击	點選
エアコン	空调	冷氣

単純な漢字置き換えでうまくいかない例

### ③WEBならではのテクニカルな事へ対処してもらおう

---

- ブラウザに表示されないテキストも忘れず訳す
  - Metaタグ、Altタグ等
- 画像文字も忘れず訳す
  - JPEGファイル、Flashファイルなど
- HTML上書き時に、オリジナルタグを壊さない
- 翻訳により単語や文章の長さが変わることを考慮する
  - 図やメニュー名など長さ制限が必要な場合も
- SEO対策を考え翻訳する
  - キーワードの言い回しを変えない

## ④作業範囲を確定させ、見積もりを正確にとる

---

- 翻訳範囲を明確にする
  - トップページ以外のURLだけ知らせてもNG
  - メニューや画像の文字やタグの翻訳の必要性など
- プロセスを確認する
  - クライアント・自社・翻訳会社間のフィードバックや承認
- 納品形態を何にするのか決める
  - ワードファイル？HTML上書き？
  - JPEGやFlashファイルの編集はどうするのか？

多くのWEBサイト構築では見積もり時に依頼内容が決まっておらず、実際にかかる価格、納期が見積もりからぶれるので注意が必要

## ⑤品質・納期・コストを全体最適で考える

---

- 翻訳プロセスからWEBサイト構築全体へスコープを広げ、対処策を考える
- 上流工程がおざなりになると、翻訳作業等の下流工程にしわ寄せが来る
- コンテンツの適切さが一番翻訳の品質に影響を与える
  - 原文以上の質を翻訳文に求めることは出来ない
- HTML上での翻訳品質の劣化に気をつける
  - 言葉を知らない人がHTMLをオーサリングしている可能性大
  - 日本語との対比が出来る工夫とポカよけをする
- 納期とコストは自社と翻訳会社の作業分担で調整できる
  - HTML制作、画像編集など翻訳会社に依頼できる事柄も多い



## そもそも頼れる翻訳会社の見分け方

---

- 信頼できる人からの紹介・実績の多さ
- ネイティブに翻訳させているか
  - トライアルを頼むことも可能
- WEB知識の豊富さ
  - メタタグのことなどいくつか質問してみる
- アフターフォローの良いところ(コーディネーターの対応)
  - 何度もやりとりが発生しやすい
- スタート時の見積もりのアバウトさ、中期の見積もりの精密さを併せ持つ